

技術革新と 脅威の調和

ー説明可能AIを考える

2024年、人工知能(AI)は世界的な科学の舞台で前例のない評価を獲得した。ノーベル物理学賞も化学賞もAIの研究開発者たちに授与されたのである。さらに、ChatGPTやDeepSeek、画像生成AIなどのアプリケーションは日常生活に急速に浸透し、人間の経験や作業プロセスを再構築しようとしている。

一方、AIに関して重大な懸念もある。複雑で精巧なアーキテクチャは、その内部構造を人間が理解することを困難にし、製薬開発などの重要な分野での応用を妨げる。また、特定のデータに依存するAI生成モデルの学習は、偏見や知的財産権に関する懸念を引き起こす可能性がある。さらに、誤った利用より社会が深刻な危険にさらされることもある。

このワークショップでは、AIがもたらす可能性と課題、ならびにそのために必要な説明可能AIの開発、AIガバナンス、AIに関連する政策を探求することを目的とし、産官学連携で情報共有を図る。

登壇者(順不同)

渡辺 琢也(経産省)、飯田 正仁(三菱総研)、濱田 太陽(株式会社アラヤ)

林 祐輔(AI Alignment Network)、橋本 崇(日本銀行)、趙 亮(京都大学)

2025年6月7日[土]

京都大学東一条館1F 112/113号室

第1部	講演&パネルディスカッション	第2部	フリーディスカッション	企画&講演司会	李楊和璞(京都大学)
	13:00 - 16:15		16:15 - 17:00	ファシリテーター	濱田太陽(株式会社アラヤ)
形式	会場 配信 (Zoomにてコメント受付)	言語	日本語	参加費	無料
				参加対象者	どなたでも歓迎します!

ウェブ <https://u.kyoto-u.jp/31h7o>

参加登録 <https://forms.gle/VdL5U22pbHACpwH29>

参加申込期限 2025年6月6日[金] (申し込み多数の場合は早めに会場参加を締め切る可能性があります。)

主催 京都大学大学院総合生存学館未来智慧研究会

共催 京都大学大学院教育支援機構

fwi-contact@gsais.kyoto-u.ac.jp

ウェブ

参加登録

